

<家庭総合年間指導計画より抜粋>

消費生活を営む (14)	学習項目	時数	学習内容	評価規準 (思考・判断・表現)
	1 主体的な消費行動を考える	1	消費行動における自分の意思決定の重要性とそのプロセスを理解する。	財・サービスの購入の際の主体的な意思決定について考え、まとめたり、発表したりしている。
	2 契約と消費者トラブル	3	契約に関する責任を自覚し、問題商法にあわないための注意・予防法、あった場合の解決策を身につける。	消費者問題の被害の防止や救済について、具体的な事例を通して考え、まとめたり発表したりしている。
	3 販売方法の多様化と消費者信用	3	キャッシュレス社会のメリット・デメリットを考え、消費者信用、多重債務問題などを学習し、消費者として適切な判断ができるようにする。	キャッシュレス社会の課題について考え、具体的な対応をまとめている。
	4 消費者の権利と責任	1	消費者基本法を通して、消費者には権利と責任があることを理解する。	消費者の権利と責任について、自分自身の考えをまとめたり、発表したりしている。
	5 家庭経済の仕組みと家計管理	2	国民経済と家庭経済の関係を知り、収入と支出のバランス、リスク管理など、家計の管理について理解する。	今日の家計の特徴について、資料を活用して考え、生活設計を立案するために思考し、判断できる。
	6 人生設計と経済計画	1	職業形態の多様化と生涯賃金について理解し、職業選択について主体的に考える。	中期・長期の観点から生活設計・経済設計を立案するために思考し、判断できる。
1		ライフイベントごとにかかる費用を算出し、人生のマネープランを考える。		
1		学習のまとめとしてライフサイクルゲームに取り組む。		

本研究における授業計画 (全6時間)

時間	授業テーマ	ねらい	学習段階	
1	契約ってどんなもの？	契約の性質を知る。意思決定のプロセスや生活情報の収集・選択について考える。	自分のための消費	自己の価値観を再認識する(アイデンティティの確立) 消費者としての基礎知識を身につけ、リスクマネジメントできる
2	あなたなら、どうする？	事例に沿って、消費者の権利・責任に基づいた判断・対処を考える。	自分以外のための消費	他とつながる消費活動ができる(地域支援、安心安全な社会、将来の自分や家族、世界の貧困)
3	こだわりピザでおもてなし	他を意識した消費について考える。手際よく調理できる。	持続可能な社会の実現	ものごとの背景をとらえ、主体的な消費活動ができる =消費者市民社会
4				
5				
6	つながる消費	フェアトレードを題材にして、自己の消費活動を振り返る。		

テーマ	契約って、どんなもの？		1 / 6 時間目
本時の目標	日常生活には多種多様な「契約」が存在することに気付かせると同時に、あいまいな情報による判断によって、トラブルが発生することを知る。一人の消費者として主体的な態度を育むために、情報の正誤性を見極めることや適切な判断をすることの重要性を理解する。		
本時の学習指導計画			
過程	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料
導入	<ul style="list-style-type: none"> 事前アンケート（消費傾向チェック）を各自記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの消費行動を振り返り、消費者という立場を意識させ、消費行動は個人の価値観が影響することを補足説明する。 本時の目標（消費者の立場で契約について考えること）を伝える。 	事前アンケート
展開	<ul style="list-style-type: none"> 契約クイズ 1 を解きながら、契約の性質を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近にある例を挙げながら、場面に合わせて契約の性質を確認させる。 生徒の挙手によって回答を確認しながら、解説を加える。 まとめ①の文中に入る用語を問いながら、理解度を判断する。 	PC（パワーポイント①） ワークシート①
	<ul style="list-style-type: none"> 意思決定に必要な判断力について考える。 契約クイズ 2 を解きながら、未成年者の契約について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 事例を通して、あいまいな情報に左右される危険性を感じさせる。 悪質業者の存在を示し、不当な契約が発生することを伝える。 消費者保護制度を活用することで誤った契約も救済されることを理解させる。 まとめ②の文中に入る用語を問いながら、理解度を判断する。 	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを見ながら学習内容を振り返る。 次時の学習内容を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの項目に沿って、本時の復習をさせる。 次時の学習内容を予告する。 	ワークシート①

テーマ	あなたなら、どうする？		2 / 6 時間目
本時の目標	様々な消費トラブルに直面した場合の対処について、消費者の権利や責任に基づいた具体的な方法を考える。また、各自の判断内容を学級内で共有することでコミュニケーション能力を高める。		
本時の学習指導計画			
過程	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料
導入	・前時の学習内容を確認し、本時の学習内容を知る。	・前時の復習として契約の性質を確認する。 ・本時では、契約に関してさらに具体的に判断していくことを伝える。	
展開	・自転車・自動販売機のケースから、消費者としてどのような判断が適切か考える。	・「消費者の5つの責任」に当てはめながら、個人の行動が周囲に与える影響について考えさせる。	ワークシート② PC (パワーポイント②)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイングを通してデパート商法のしくみを知る。 ・トラブル回避のための対処法(断り方)を考え、発表する。 ・問題の背景として携帯電話等の普及が関係することを知り、類似する事例について、生徒間で情報交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表3名によるロールプレイングを行う。その際、それぞれの立場になって心情を探るように指導する。 ・様々な言葉の掛け方があり、「自分だったら」ということを強調しながら、発表を促す。 ・個人が所有する携帯電話が悪質商法にも利用されていることを伝える。注1 ・類似する事例を共有させ、身近な問題として捉えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイング台本 ・PC (パワーポイント②)
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを見ながら学習内容を振り返る。 ・次時の学習内容を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめの文中に入る用語を確認し、ワークシートの項目に沿って、本時の復習をさせる。 ・次時の学習内容を予告する。 	

(注1)

パワーポイント内で提示している3つの事例は、宮崎県消費生活センターHPから引用。

「トラブル事例」として、様々な相談事例と手口、それに対するアドバイスが紹介されてる。

テーマ		こだわりピザでおもてなし		3・4・5 / 6時間目		
本時の目標		消費者・事業者の両方の視点から料理で人をもてなすことを目的にして、食品選択や購入など実践的な消費活動を行う。 グループ内で協議や分担協力をしながら、コミュニケーション能力を高める。 小麦粉の調理性を理解し、手際よく作業しながら、調理技術の向上を図る。				
本時の学習指導計画						
過程		学習内容及び活動	指導上の留意点	学習分野		資料
				食生活	消費生活	
3 時間目	導入	・前時の復習 ・調理実習の説明を受ける	・消費者と事業者両方を体験することを伝え、自らの失敗例をもとに各立場における優先順位を考えさせる。 ・調理手順と、ピザ生地に使用する小麦粉の調理性を理解させる。	○	○	ワークシート③ ワークシート④
	展開	・各班で「こだわり」を決め、材料を検討する。	・材料準備に関する留意点を伝える（資料1）	○	○	
		予算内で食材を調達する	授業外で調理当日までに準備させる。	○	○	
4 ・ 5 時間目		・示された手順通りに調理し、オリジナルピザを完成させる。 ・試食していただく先生へ完成したピザ1ピースを届ける。 ・試食して片付ける。	・オリジナル食材や実習着等が準備されているか点検する。 ・机間指導しながら班員が協力して手際よく調理しているか確認する。 ・事前に試食の依頼をした先生方に完成したピザを届け、試食後に購入を想定した価格を設定してもらう。 ・試食しながら販売価格を考えさせる。	○	○	
	まとめ	・目的や条件に合わせた食材準備や調理ができたか確認する。 ①材料の産地確認 ②ゴミの重量測定 ・次時の学習内容を知る。	・確認内容をワークシートに記入させる。 ・集計結果は次時に発表することを伝える。	○	○	ワークシート④

(資料1)

- ・各班でこだわるポイントを決める。(例：いろいろ、栄養バランス、ボリュームなど)
- ・購入する材料費として1班1000円を支給する。(班長が現金を受け取り、購入後は、残金にレシートを添えて清算する)
- ・ピザ生地やトマトソースの材料は共通材料として学校で準備し、その他のトッピングは全て班ごとに予算内で購入する。
- ・地産地消、ゴミの減量、班の協力体制などの項目で評価をする。
- ・調理したピザを校内の先生に試食していただき、このピザを商品として購入してもよいと思う価格を設定してもらう。

テーマ	つながる消費		6 / 6 時間目
本時の目標	消費行動の1つ1つが自分以外のための消費として多方面へ与える影響を理解する。 商品の価格設定について考え、フェアトレードなどの取組みについて知る。 これまでの学習を通して感じたことをもとに、自らの消費行動を見直す。		
本時の学習指導計画			
過程	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料
導入	・前時の実習を振り返る。	・前時の地産地消・ゴミ減量の結果を発表する。	
展開	・地産地消やゴミ減量がもたらす効果について考える。 ・ピザの価格設定を考える。	・地産地消やゴミ減量の効果として挙げられた項目を「自分のため」「自分以外のため」に分類させる。 ・原価や生産コストから商品価格を設定させ、実習時に考えた価格と比較させる。また、利益を上げるための方策を考えさせる。 ・事業者としての適正価格と消費者が望む商品価格との誤差を分析し、それぞれの思いに気付かせる。	ワークシート⑤
	・つながる消費について考える（自分以外のための消費、フェアトレード）	・フェアトレードについて説明する。 ・主体的な消費者像について、「自分のお金に興味を持たせる」という観点から考えさせる。	PC（パワーポイント③）
まとめ	・自らの消費行動を振り返る	・消費傾向チェックを返却し、これまでに感じたことを踏まえて自らの消費行動での改善点や目標などを書き込む。	事前アンケート